

1 事業名 第35回さんべ祭

2 趣旨

三瓶山周辺地域の活性化を図るため、三瓶山北の原地区5施設[国立三瓶青少年交流の家、島根県立三瓶自然館サヒメル、三瓶こもれびの広場木工館、大田市山村留学センター、SANBE BURGER]が軸となり、地域の人々と密接な連携のもと事業を展開する。また、事業を通してテーマ「三瓶を満喫“自然”と“笑顔”でつながる感動体験」の具現化を図る。



3 主催・共催・後援

主催 第35回さんべ祭実行委員会(事務局：国立三瓶青少年交流の家内)

共催 国立三瓶青少年交流の家、島根県立三瓶自然館サヒメル、三瓶こもれびの広場木工館、大田市山村留学センター、SANBE BURGER

後援 大田市、出雲市、雲南市、江津市、飯南町、川本町、美郷町、大田市教育委員会、出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、江津市教育委員会、飯南町教育委員会、川本町教育委員会、美郷町教育委員会、朝日新聞松江総局、山陰中央新報社、中国新聞社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、NHK松江放送局、山陰中央テレビジョン、BSS 山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、島根日日新聞社、石見銀山テレビ放送(株)

4 期日

平成25年10月26日(土)～10月27日(日)[第4土・日曜日実施]

5 参加者

宿泊者 44名 日帰り利用者 5,029名(2,006名/26日、3,023名/27日)

6 実務担当者会

国立三瓶青少年交流の家、島根県立三瓶自然館サヒメル、三瓶こもれびの広場木工館、大田市山村留学センター、SANBE BURGERのそれぞれの担当者で、企画と運営について確認した。

コンセプト	<p>「体験活動を中心とした施設の企画や5施設の合同企画を考えると共に、国立公園内で実施する企画として、環境に配慮した取組とする。」</p> <ul style="list-style-type: none">参加者に、5施設共通のねらい(三瓶を舞台にした体験活動の提供、三瓶の自然発見)である体験活動を提供し、三瓶の良さを実感してもらうことでリピーターの発掘・確保に繋げる。地域と連携したり、新しい人・モノを開拓したりしながら「体験・ステージ」を充実させることで、地域と施設の活性化、ネットワーク化に繋げる。国立公園内の施設として、来場者に環境保全について意識してもらうために、ごみの持ち帰りをお願いしたり、ポスター・チラシに、マイはし・マイカップ・マイバッグの持参を呼びかけたりして、環境に配慮した取り組みを行う。併せて国立公園指定50周年をPRし、関心を高める。
テーマ	<p>【三瓶を満喫“自然”と“笑顔”でつながる感動体験】</p>

7 事業の内容

主な内容

国立三瓶青少年交流の家 会場	ステージ企画 (9 団体+ゲスト)	いそたけ保育園鼓笛隊、北三瓶っ子太鼓クラブ(山村留学センター)、こぼと保育園演技、島根県立大田高校吹奏楽部演奏、大田市立大田小学校ファンファーレバンド、リトル・TOYBOX、ラウンドダンス・チェリー、大畑茂樹グループ with Bella Voce、亀の子工房、六子
	さんべ夢ステージ (大学生ボランティアによる企画) (4 企画)	○ステージ班：Smile Chain ○自然系ゲーム班：自然のドリームランド in さんべ ○創作活動班：楽しすぎ！焼き杉 de マイプレート ○全体ゲーム班：8 人のサンベリアン
	物産・工芸品展	さんべ大鍋無料提供、しまねの物産・工芸品販売、フリーマーケット
	体験活動てんこ盛り (8 企画)	丁銀ストラップ、カラーキャンドル、松ぼっくりのモビール、ブーメラン、マイはしづくり、ペットボトルダーツ など
	子ども体験遊びリンピック (5 企画)	ギネスを越えろ！カプラタワー、クリスタルジャパン in さんべ、飛べ！My ヒコーキ、君もマー君！ストラックアウト、めざせ！石川遼
	作品等展示・販売 (16 団体)	木工館展示・販売、志学折り紙友の会「折り紙展」、大田市特別教育支援部会「なかよし学級作品展」、こぼと保育園「園児作品展」、小さな自然館「石の展示」、大田高校美術部作品展、亀の子作品展、グルグルアート、大田森林管理署、大田市観光振興課「木下藤寿氏 健康づくり講演会」など
	お楽しみ企画	スタンプラリー、映画上映
	環境配慮	マイカップ・マイはし・マイバッグ持参広報、ゴミの持ち帰り運動
共催施設会場	三瓶自然館サヒメル	サヒメル・一般キャンプサイト無料開放、ススキの迷路、さんべ大鍋無料提供、クラフト工作など
	木工館	工作体験コーナー、クライミングボードであそぼう！など
	山村留学センター	わたがし作り&まき割り体験 など
	SANBE BURGER	お楽しみくじで、すてきな商品が当たる！



国立公園指定 50 周年記念として、地元山陰のシンガーソングライター「六子」のライブショーを行いました。



「子ども体験遊びリンピック」には、毎年たくさんのチャレンジャーが参加してくれます。



地元大田市のマスコットキャラクター「らとちゃん」も来場して、一緒に盛り上げてくれました。

(担当 小畑 隆夫)